

第 7-9 回

(2008.5.23,30,6.6)

参考資料の種々とその利用

カール・ベッカー教授

■ 第 7 回：講義（吉田南 1 号館 311）参加者 76 名

配布資料：A4 -8 枚

- 先行研究を調査する必要性とその方法を理解してゆく上で、レファレンスツールの種類・特徴・使用法を覚える。
- 大学レベルの論文の作成について
- 論文は感想文やレポートとは異なる。主な論文の展開法は次の 5 つ。①概説・解説、②分析、③比較、④類推、⑤通説の捕捉・修正・論破(仮説の立証) (資料 1)
- 論文を作成するには
- テーマを絞る：百科事典の索引から、テーマの概説、主要文献、権威者などを調べる。
百科事典の引き方の説明 (資料 2、資料 3)。
- 情報を収集する…学術データベースの特徴を理解して活用する。
- ビデオ(約 15 分)「情報検索入門：デジタル世界への旅立ち(新・図書館の達人 第 3 巻)」
キーワードから雑誌記事索引を引く場合を例にあげ、シソーラス、統制語、上位語、下位語の説明。
検索の基本：検索語を選ぶ→検索式を立てる→検索結果を評価する(資料 4)
- 情報倫理、著作権について (資料 5)
- DB の不正 DL は、DB の利用禁止により他研究者、大学に損失を与え、不法行為であるから絶対禁止。
 - 著作権を守ること＝自分自身を守ること！
- 演習について
- 次回以降の演習で調べる分野毎に教室内で分散してもらい、おおよその人数を把握。課題の予習を指示。

■ 第 8 回：演習（附属図書館 3 階 AV ホール）参加者 97 名

- 図書館で専門百科事典類を中心とする参考図書を用いて、基礎文献を調査し、所在を確認する。AV ホールにて先生から先講義の補足および演習の説明(約 40 分)。その後 1 階へ移動し演習開始。

●演習内容

- 課題 1「テーマを設定して、参考図書を探す」
テーマを設定し、キーワードを挙げる。その際、キーワードの上位語、関連語、下位語を確認する。テーマにアプローチする分野の参考図書(日本語のもの)を選ぶ。
- 課題 2「参考図書を引いて、基本文献を探す」
参考図書を索引から引いて項目の掲載ページを確認する。役立つ項目の基本文献を書き出し、所在を確認。

■ 第 9 回：演習（学術情報メディアセンター南館 203、204）

参加者 100 名

- 信憑性の高い電子データベースで学術雑誌記事を調査し、その論文の入手法を確認する。
203 号室にて中継を用いて先生および補助者から演習の説明(約 30 分)。(資料 6)

●演習内容

- 課題 3「雑誌記事索引(CiNi)を使って、論文を探す」
課題 2 で調べた項目の執筆者をその研究分野の権威者と考え、著者名から論文を検索する。統制語やシソーラスを意識してキーワードからも検索する。被引用件数を参考に論文を選び、雑誌の所在を確認する。